

MIN-ON ニューイヤーコンサート 2011

ウィーン・オペレッタ管弦楽団

音楽の都より、珠玉のウイナ・ワルツ&オペレッタ



新年の風物詩として、日本でも定着した感のあるウィーンからのオーケストラによるニューイヤーコンサート。元々は、ウィーン貴族たちが長い冬の宵（冬のウィーンは日照時間が短いのです）を楽しもうと、春の花壇をイメージさせる色とりどりの衣装に身を包み、とびきり華やかな音楽で踊り明かした舞踏会がはじまりです。その楽しさを貴族だけに独占させるのはもったいないと、庶民にも人気を広がり、さらなる力強さ・親しみやすさが加わりました。今では、ウィーンの香り漂う華やかさ・気分を高揚させるスピード感がお正月にもピッタリと、日本でもウィーンに負けず劣らずの人気になりました。毎年、ニューイヤーコンサートを聴かないと一年が始まらないと、楽しみにされている方がたくさんいらっしゃいます。

2011年に民音が招聘する、ウィーン・オペレッタ管弦楽団は、オペレッタの殿堂「ウィーン・フォルクスオーパー」や、ウィーンのローカル色豊かな「ウィーン交響楽団」、そして、日々様々なオペラを盛り上げている「グラーツ歌劇場管弦楽団」やウィーン・フィルの母体「ウィーン国立歌劇場管弦楽団」など、ウィーンゆかりの団体からの選抜メンバーにより、1989年に結成された、ワルツやポルカのスペシャリスト集団。団員全員がオーストリア人のウィーン子で、指揮は楽団の創設メンバーであり、フォルクスオーパーで22年にわたって首席トロンボーン奏者であったジークフリート・アンドラシエックが務めます。演奏することが楽しくて仕方ないという彼らの今にも踊りだしそうなステージに、客席からは思わず微笑みや手拍子がわき

上がり、中にはこっそりステップを踏み出す方もいらっしゃるなど、ステージとの一体感、楽しさは抜群です。

もちろん、オーケストラだけでなく、歌やバレエが加わるのもニューイヤーコンサートの楽しみの一つ。ソプラノのマルティナ・ドラーク、バリトンのヨゼフ・ルフデンシュタイナーはウィーンで学び、ウィーンで活躍するスターたち。実力に裏打ちされた歌唱力と、エンターテイナーとしてのサービス精神で、ウィーンの明るく陽気なメロディーを世界各国で披露、どこでも引っ張りだこです。そして軽やかに舞うダンス・カップル、ティアゴ・メンデスとアリーナ・コロレヴァはオペレッタやワルツのダンスで、ヨーロッパ各地で様々な賞も受賞している最強コンビ、2011年の日本で舞い初めを楽しみにしています。

出演者	ウィーン・オペレッタ管弦楽団、指揮：ジークフリート・アンドラシエック、ソプラノ：マルティナ・ドラーク バリトン：ヨゼフ・ルフデンシュタイナー、ダンス・カップル：ティアゴ・メンデス&アリーナ・コロレヴァ
予定曲目	ヨハン・シュトラウスⅡ世：ワルツ「春の声」、ポルカ「クラブフェンの森にて」、他
予定開催地域	大宮、福岡、西宮、静岡、浜松、名古屋、相模原、札幌、東京